

居合道たより 41号



居合道ながさき



七日客七草粥の残りなど・高浜虚子 七草粥

小寒から節分までの30日間を「寒の内」といい、寒風と降雪の時節で、寒さが厳しくなる頃。これから冬本番を迎えます。立春が「寒の明け」になります。

七草粥は1月7日の人日(じんじつ)の節句の行事食です。七草粥を食べるとまた、一年が始まったような気がします。春の七草「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」の7種が入ったおかゆを食べる

と、1年間を無病息災で過ごせるとされているようです。お正月の暴飲暴食で疲れた胃腸を労り、冬に不足しがちなビタミンも補える、理にかなったお粥です。まだまだ、寒い日がきますが、少しずつ春が確実に近づいてきた感じがして、少し気持ちは暖かくなってきます。コロナ禍のなか、居合道の稽古にも優しい季節が近づいてきています。このような時こそ自己研鑽を究めていきたいものです。



お知らせ(1)・・・第2回県居合道委員会・居合道理事会 開催

標記の委員会及び理事会を令和6年1月21日(日)長崎県営野球場にて開催いたします。居合道委員及び居合道理事の皆様のご出席をお願いいたします。

1. 日時 令和6年1月21日(日)
 - ①居合道委員会 12時30分～14時30分
 - ②居合道理事会 14時30分～16時30分
2. 会場 長崎県営野球場 第2会議室(長崎市大橋町)
3. 内容
 - 1) 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画及び予算案
 - 2) 居合道部功労賞選出について
 - 3) 年度当番地区割について
 - 4) 長崎県居合道選手権運営及び全日本居合道大会強化について
 - 5) 居合道普及及び道場紹介について
 - 6) 居合道段位審査員改選、居合道部役員役割分担について

礼節を重んずる・・・心の修業と技の修業を伴う稽古

<新年のごあいさつ・・・居合道部長 高木志伸>

新しき年を迎え、皆様のご多幸とご清武を祈念いたします。長崎県剣道連盟居合道部は昨年一年間、居合道会員の団結、連携を強くできるように事業推進にあたってまいりました。これからも会員同士が共に学びあい「交剣友愛」の輪を広げたいと思います。

居合道修業で最も大切なことは礼儀である。神前、恩師、先輩、刀、相互に対する始礼、終礼である。このことを真心こめて行う。これが自然に身につくと、自らの人格も向上することとなる。居合道は一種の刀法として始まりました。その目的は精神の鍛錬が第一で、身体の練磨、技術の訓練という順になる。心身の鍛錬は剣道と同じだが、その技術は剣道の根本となるものである。つまり、刀の運用や礼儀など、すべてが剣居一体のものであり、この修業をすることは、自分自身の心身の鍛錬、人格向上につながるものである。技の修業ばかりやって心の修業を怠るならば、深味のある居合道、人格は出来ない。しかし、そうかといって心の修業ばかりしていても技の修業を積まなければ、刀を自由に使うことが不可能である。立派な居合道をやるためには心の修業と技の修業とが伴わなければならない皆様におきましては新年の感謝を以てお過ごしになる日送りとなりますことを祈念いたします。



居合道部では一昨年、役員改選にあたり、女性理事を3名任命し女子居合道の普及、更なる発展を目指し、様々な情報収集や活動をしてきました。また、女性ならではの視点から長崎県剣道連盟居合道部に「新しい風を吹き込む」ことができました。また、長崎県剣道連盟剣道祭では紅白試合の中に居合道、杖道の試合に3組出場することができました。若年層においても居合道の普及、更なる発展や、様々な情報収集や活動を目指し、剣道同様に全国でも活躍する選手育成や稽古会の開催など魅力ある居合道部となることを期待しています。また、日頃の稽古に対する熱い思いや、弛まぬ努力を続けたいものです。今年度も全日本剣道連盟並びに長崎県剣道連盟とより深く連携をとり、長崎県剣道連盟居合道部の活動が剣道の理念に沿ったものになるよう努めていきたいと考えておりますので、会員皆様の暖かいご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。それでは皆様にとって、最良の年になりますように祈念申し上げます。

お知らせ(2)・・・春季居合道講習会及び春季居合道級位審査会

令和5年度春季居合道講習会及び春季居合道級位審査会を開催致します。

- 1 期日 講習会：令和6年3月24日(日) 10:00～16:00
級審査会：平成6年3月24日(日) 16:00～
- 2 会場 長崎県立武道館 剣道場

報告(1)・令和5年度(第25回)県下剣道祭

標記大会は令和5年12月24日(日)、長崎県立総合体育館(サブアリーナ)にて開催されました。日本剣道形試合の後、紅白試合(居合道、杖道、剣道)が行われました。居合道部からは先鋒・樋渡 彰(修道塾)対高木 元(口之津健武会)、次鋒・岩男徹史(厚海会)対山領伊都子(葉志塾)、大将・宮崎大輔(友剣会)対畑中健佑(遊道会)が出場しました。

日本剣道形試合の後に紅白試合の中に居合道と杖道も参加した中で実施しました。通常の居合道試合と同様に主審副審が選手の前に座って、判定の時に主審が立ち上がり、判定の紅白の旗を揚げ、判定をしました。選手は開始線に立ち、正面への礼、刀礼、帯刀、試合、刀礼、正面への礼、待機、判定、退場の順でした。指定技は古流1本目、古流2本目の後に全日本剣道連盟3本目(受け流し)7本目(三方斬り)、10本目(四方斬り)でした。試合は相手を意識した実践的な試合方式でした。長崎県居合道部の居合道大会でもこのような実践的試合を実施したいものです。

紅軍			白軍		
高木 元	五段	口之津健武会	樋渡 彰	五段	修道塾
岩男徹史	錬士六段	厚海会	山領伊都子	五段	葉志塾
畑中健佑	錬士六段	遊道会	宮崎大輔	教士七段	友剣会
審判					
高木志伸	教士七段	居合道部長	主審	葉志塾	佐世保市
小林保彦	教士七段	居合道顧問	副審	尚武会	雲仙市
中村武文	教士七段	居合道委員	副審	口之津健武会	南島原市

令和5年度長崎県剣道祭紅白試合 居合道部試合



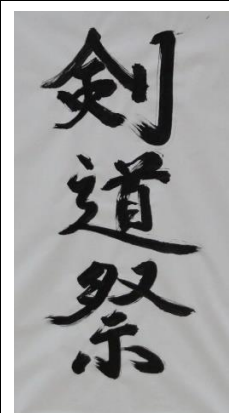
大将・宮崎大輔(友剣会) 対 畑中健佑(遊道会)



中堅・岩男徹史(厚海会) 対 山領伊都子(葉志塾)



先鋒・高木元(口之津健武会) 対 樋渡 彰(修道塾)



県下剣道祭
垂れ幕(藤原理事長所)

県剣道連盟表彰
全日本居合道大会3位 畑中健佑

県剣道祭 優秀演武賞
高木 元 (口之津健武会)

